

【担当教員名】 五十嵐紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・栄養・スポ・看護・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】
スピーキング
話すことは、ことばを口に出して言うという動作そのものを意味するものではない。どんな目的で誰に対して、いつどこで何をどんな風に言うのか、などを意識することから始め、それに応じた話し方をするためのトレーニングを行う。
授業では、日本人英語学習者が苦手とする英語特有の発音を集中的に練習することに加え、その他の素材を用いて、ことばを味わい、発話することについて学習していく。

- 【学習目標】
1. 発話の目的を理解する
 2. 話すことについて理解を深める
 3. 日本語と英語の発音の違いを理解し、聞き分け、発音が出来るようにする
 4. 3を達成するために必要な発音記号を理解する
 5. 腹式呼吸による発声方法を身につける
 6. 状況に応じた話し方が実践できる

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法・学習課題
1	オリエンテーション	腹式呼吸の練習
2	母音（基本母音とあいまい母音）	人はなぜ話すのか—話すことの意味
3	母音（二重母音）	様々な話し方と話す場面
4	母音（二重母音）	ことばへの意味づけ
5	子音（[p] [b]と[f] [v]）	講義と演習
6	子音（[θ]、[s] [z]）	講義と演習
7	子音（[ʃ] [ʒ]、[tʃ] [ʒ]）	講義と演習、小テスト
8	子音（[l]と[r]）	講義と演習
9	小テストと発音チェック	講義と演習
10	音の変化(elision)	小テスト
11	音の変化(liaison)	講義と演習
12	イントネーション・アクセントのルールと例外	講義と演習、小テスト
13	小テストと総合練習	講義と演習
14	発表	講義と演習、小テスト 発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	英語発音・聞き取りの基礎	杉野健太郎、ジョセフ・ラウアー	Asahi Press	2004年 2,000円
参考書				
その他の資料	必要に応じてハンドアウトを配布する			

【評価方法】 授業での取り組み、小テスト、発表等により総合的に評価する	【履修上の留意点】 積極的に授業に参加し、自らの課題を見つけること。
--	---------------------------------------